第１９回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

（敬称略）

◆開催日時：平成３０年６月２８日（木）　１８：３０～

◆開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆出席部会員：副部会長　谷﨑　博美

　　　　　　部会員　　荒川　昌伸

　　　　　　　　　　　山下　克彦

　　　　　　　　　　　南　　三明（協働推進庁内委員会）【都市整備部次長】

◆欠席部会員：部会長　　長部　正之

部会員　　中川　信市

　　　　　西尾　拓也

　　　　　対馬　秀樹（協働推進庁内委員会）【都市整備部次長】

◆事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　今野　沙弥【市民生活部市民協働グループ】

◆議題：今後の議題について

**≪副部会長≫**

昨日、部会長・副部会長会議に出席し、各部会の取組状況の意見交換をしてきました。

都市調和部会は、社会教育Gと共同でマップを作成することとなり、登別市健康ウオーキングマップが完成したこと、今年の取り組みについては、検討中であるという報告をしてきました。

都市調和部会の今後の取組みについて意見を聞いたところ、沢山出て来ましたが、他の部会にも関係するようなテーマでした。その中で、以前、市営住宅の話をした際に建築からいただいたデータを皆で共有しようという話になりました。

明日、ちょうど会議があるので、会議の中で話してみます、と伝えました。

**≪部会員≫**

　それはどのようなデータですか。

**≪副部会長≫**

　千代の代団地の話をした時、間取り等の資料をいただいています。全体の戸数と空室の戸数の資料もいただいているはずです。その数字を他の部会で知りたいという話になりました。

**≪部会員≫**

　市営住宅というと、前に部会長が市営住宅への入居システムを変えた方が良いという話をしていましたね。

**≪部会員≫**

１回申し込んだら１ポイント、小さい子どもがいたら１ポイントというように合理的に抽選するという話でしたね。

**≪副部会長≫**

仕組みを変えられないのであれば、別のアプローチの仕方があるのではないかと思います。

**≪庁内委員≫**

基本的に、本当に必要な人が入居している状況です。

また、ポイント制にしても、どのレベルであれば１ポイントで、どのレベルであれば２ポイントなのか、判断がつきにくい項目もあると思います。

**≪副部会長≫**

市庁舎の建替え場所を別の場所にした方が良いという話も出ましたね。

これからのことを考えると、若い人の意見は半分以上取り入れてあげた方がいいと思います。

どこの意見を一番聞いて、現位置建替えでなければならないとなったのでしょうか。

**≪部会員≫**

　公聴会みたいなものを町中でやったのですよね。

**≪事務局≫**

住民説明会を開いています。

**≪副部会長≫**

　公民館でもやっていますよね。

**≪部会員≫**

それは市民の意見を聞くという前提ですよね。それでは決まるものも決まりません。市役所でリーダーシップをとり、長期展望で方針を決めて打ち出してから意見を聞くのであれば良いと思いますが、そうでなければ時間だけがかかってしまいます。

**≪部会員≫**

そのような提言をするのをテーマにするのはどうですか。

**≪副部会長≫**

　良いと思います。

**≪部会員≫**

　現地建替えとなると、移動して壊して、また作って引っ越して、と大変ではないのでしょうか。お金がないのであればもう少し合理的な方法があると思います。空いている所に建てれば、１回の引っ越しで終わりです。なぜその選択がないのでしょうか。

**≪副部会長≫**

　陸上競技場までどのくらい遠いのですか。５００ｍくらいですよね。

他に何か話をしたいテーマはありますか。

　昨日の会議で、景観の話や、避難所にループする道を用意した方が良いのではないかという話をしたら、たくさんの賛同を得ました。

どこの避難所も行くだけで、抜ける道はないのですよね。

**≪部会員≫**

　ありません。高台エリアにいけば一方通行のため、逃げることも支援を受けることも出来ません。

**≪庁内委員≫**

　高台避難所であれば、ネットワークのところであれば緑陽中学校に抜けられますし、他の避難所も抜けられるところはあるので、必ずしも一方向ではありません。

**≪副部会長≫**

　避難所の地図に「こっちにいけば幌別方面に行きます」等、書いてあったほうが良いと思います。

**≪部会員≫**

津波もそうですが河川増水時に寸断される所が出てくると思います。

いつも言っていますが、札内と鉱山がつながっていれば自主避難や救助に来ることが出来ます。ないために、役所に迷惑をかけてしまいます。つながっていれば自主避難で札幌でもどこでも行くことが可能なのです。工夫すれば市内にたくさんループの道が出来ると思います。

前に地震が発生した際も、道路沿いに避難して来た人がびっしりいたのです。行き止まりなので、自分でどうにも出来ないのです。自主避難させる道がないため、消防も大変です。

**≪庁内委員≫**

　カルルスは、札内カルルス路線が出来たので大丈夫ですけどね。

**≪部会員≫**

災害というと、市役所の地域は津波の浸水区域ですよね。

**≪事務局≫**

市街地の９割くらいは浸水するのではなかったでしょうか。

**≪庁内委員≫**

　３～４メートルくらいですかね。

**≪部会員≫**

今これだけ防災とか津波とか言われている時に、浸水地域に庁舎を建て替える可能性が強いというのはどうなのでしょうか。

**≪副部会長≫**

　そうですね。防災本部にならなくてはいけない場所ですから。

**≪部会員≫**

　市役所に集まることが出来ません。このことは前々回の部会長・副部会長会議の説明の時間に伝えましたが、それは大丈夫という市役所の意見でした。

**≪部会員≫**

候補地３つで住民投票をするなどしても良いのはないでしょうか。

ただ、１番大事なのは、災害時に行政としてどうするかという考え方です。リスクなどを見極めて、優先順位を決められていかなければなりませんね。

しかし、本当に津波が来て、役所が浸水したら洒落にならないですよね。そのために高台に建て替えようというのが今の時代の流れです。

**≪部会員≫**

東日本では、中枢機能はあえて津波の浸水地域に戻したという場所も結構あるという話が市役所からありました。

ただ、登別市はもっと自分たちの町として考えていった方が良いと思います。

**≪部会員≫**

　１棟でなく、地元の業者で作れる範囲の建物をいくつか作るのが良いと思います。火事等のリスク分散という意味でも良いです。防音にもなりますし、部ごとに建物をわければわかりやすいです。

建物を円上に建て、真ん中に公園や憩いの場があり、市役所に用事がなくても憩いの場に行って見たいな、と思ってもらえる庁舎が理想です。

温泉に来た観光客も、庁舎を見に来て、その前で記念撮影をするといったくらいの観光名所にすれば良いのです。

**≪部会員≫**

登別市役所に足湯を作れば良いという話もしていましたね。

**≪部会員≫**

　登別市役所が有名になると思います。

**≪部会員≫**

　観光地ですから、どうせお金をかけるのであれば、観光名所を１つ増やそうくらいに思わなくてはいけません。

**≪部会員≫**

新たに多大な投資は出来ないのですから、本庁舎建て替えのときにそこに乗せてしまえば良いのではないでしょうか。

**≪部会員≫**

方向的には、市庁舎のことについて話したいという意見が今日の会議では大半を占めましたのということを次回部会長に話をして、方向性を決めましょう。